

こども防災手帳（低学年用）

副読本

この本は、尾張旭市が市内の市立小学校に通う低学年のお子さんに配布している「こどもぼうさい手ちょう（1・2・3年生用）」の副読本です。

こども防災手帳をより活用していただくため、学校の先生や保護者の方向けに解説しています。

令和3年4月発行「尾張旭市防災ガイドブック」と合わせ、ぜひご活用ください。

目次	
1 おうちではなし合い！	P 1
2 さいがいにそなえよう！	P 2
3 じしんのときはどうする？	P 3～6
4 大雨やたいふうのときはどうする？	P 7・8
5 ほかのさいがいについて	P 9
6 ひなんじよって、どんなところ？	P 10・11
7 まとめ	P 12

令和3年11月

尾張旭市

1 おうちではなし合い！

ねらい

- ☆ 家族間で災害について話し合いの機会を持つ。
- ☆ 災害が起きたときの行動について『決めごと』を作る。

解説

① おうちの人とのまちあわせばしょ

- 優先順位を付けて、複数の待ち合わせ場所を決めましょう。
- 待ち合わせ時間を1日2回程度決めると良いでしょう。
例：午前11時、午後3時等
- 待ち合わせ場所への道のりについて、家族で確認しておきましょう。

② おうちのひなんじょ

避難所は、災害や用途によって場所が異なります。

ここでは、命を守るために一時的に避難する場所（指定緊急避難場所）について解説します。

なお、避難所についてはP10・11ページでも解説しています。

■ 地震

一時避難場所：市内各都市公園、一部の集会所、ちびっこ広場等

■ 風水害

地域避難所：中央公民館、地区公民館（三郷公民館を除く）、東部市民センター

※ 一定期間集団で生活する避難所は指定避難所とされ、尾張旭市では各小中学校を指定しています。（詳細は、令和3年4月発行の尾張旭市防災ガイドブックを確認）

③ おうちの人とのれんらく

- 災害時は、携帯電話、固定電話に通信規制がかかる場合があります。
- 公衆電話は通信規制の対象外として優先的に取り扱われるため、日頃から公衆電話の位置をお子さんと確認し、使い方を習得しておきましょう。

1 おうちではなし合い！

さいがいがおきたときのために、おうちの人とはなし合いをして、いろんなことをきめておきましょう。

おうちの人とのまちあわせばしょ



まちあわせばしょは、どこにする？

①

おうちのひなんじょ



どこにげれば、いいのかな？
じしんのとき
たいふうや大雨のとき

②

おうちの人とのれんらく



だれに、れんらくする？

でんわばんごうは？

③



おうちのみんなで、
はなし合いましょ

おうちのかたへ

災害時、家族が無事に集まるための待ち合わせ場所やご自宅の校区の避難所、連絡先について、ご家族で定期的に確認し合ってください。

1

2 さいがいにそなえよう！

ねらい

☆ 自分や家族にとって、災害時に必要となるものを考え、理解する。

解説

◎ 非常持ち出し品を用意するポイント

- 非常持ち出し品は、避難の際に両手を空けるため、リュックサック等背負える袋にまとめましょう。その際、背負える重さすることに留意します。
- すぐに持ち出せるよう、家の構造等を考えて置き場所を決めましょう。

◎ 非常持ち出し品の確認（あなたのおうちでよういできているものに○をつけてみましょう！）

- 家庭で用意できているものの確認を行います。

なお、ここに掲載されているイラストの物品は一例であり、必要なもの全てではありません。

- 非常持ち出し品は、避難後にすぐに必要になるものは何かを考えて用意しましょう。人から借りられないものについては、特に留意して用意します。
- 備蓄品は、3日間分（できれば1週間分）を用意します。
- 飲料水や食品等は、ローリングストック法（※）を活用して備蓄しましょう。
- 非常持ち出し品の中身は定期的に検討しましょう。
- 食料品以外についても、使用期限等に留意します。

ローリングストック法

あらかじめ、少し多めに食糧等を買っておき、日常生活で消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定の備蓄を保つ方法です。

2 さいがいにそなえよう！

① ひなんするときにもっていく、『ひじょうもち出しひん』をよういしましょう。



- ・リュックサックなど、ひとつのふくろにまとめておこう。
- ・おうちのなかのもち出しやすいところにおいておこう！

② あなたのおうちでよういできているものに○をつけてみましょう！



ひじょうもち出しひんは、

- ・人からかりられないもの
- ・じぶんがたべるたべものからよういするといいよ！

たとえば…

- ・めがね
- ・歯ブラシ
- ・びょういんでもらったくすりなど！

おうちのかたへ

非常持ち出し品は、避難の際に緊急で持ち出すものになります。長期的に使うことになる備蓄品とは分けて用意をお願いします。また、家族構成や季節によって、必要なものも変わってきます。お子様と一緒に、何を準備しておくか、ぜひ考えてみてください。

2

3 じしんのときはどうする？

ねらい

- ☆ 地震が起きたとき、身を守るための動作を身につける。
- ☆ 学校の中で地震が起きたとき、危険な場所等を理解する。
- ☆ 登下校中、外遊び中に地震が起きたとき、危険な場所等を理解する。

解説

◎ 『お・い・た』

地震が発生したら、物が落ちてこない場所、移動してこない場所、倒れてこない場所に逃げます。

お子さんが学校にいる場合は、先生の指示に従って行動します。

◎ シェイクアウトのポーズ

シェイクアウト訓練を行うことで、地震の際の安全確保行動である3つの動作「①姿勢を低くして、②頭を守り、③動かない」を身につけます。②の頭を守る際には、机の下にもぐるほか、クッションやカバン等を使用することも有効です。

◎ 回答例（地震が起きたときの危険箇所・校内）

『お・い・た』を意識して危ない場所を確認します。

① 窓ガラス（教室、昇降口）

窓の近くにいると、窓ガラスが飛散して危険です。また、靴を履いていない場合、ガラスの破片を踏んでケガをするおそれがあります。

② 蛍光灯

上から吊っているものは、落下防止措置をしていないと落ちてくる場合があります。また、蛍光灯の場合は割れたガラスの破片が降ってくるおそれがあります。

③ ボード

壁に取り付けられているボード等が、外れて落ちてくるおそれがあります。

④ ロッカー（教室）・下駄箱（昇降口）

転倒防止措置を行っていない場合、倒れてきて下敷きになるおそれがあります

3 じしんのときはどうする？

① じしんがおきたときはいろいろなものがたおれたり、おちてきます。じぶんのからだをまもるには、どうしたらいいのか、かんがえてみましょう。

じぶんのいのちをまもる3つのポイント！

- ◎ おちてくるものに気をつける
- ◎ いどうしてくるものに気をつける
- ◎ たおれてくるものに気をつける

シェイクアウトのポーズで『お・い・た』に気をつける！

①しせいをひくくする

②手であたまをまもる

③からだを小さくしてじっとする

どこが、あぶない？
どれが、あぶない？
えを見て、あぶないところやあぶないものを、さがして○をつけてみましょう。

3

◎ 回答例（地震が起きたときの危険箇所・登下校中）

『お・い・た』を意識して危ない場所を確認します。

① 自動販売機

固定されていない自動販売機は転倒するおそれがあります。

② ビルの窓ガラス、外壁

窓ガラスの飛散、外壁の剥落等でケガをするおそれがあります。

③ 切れた電線

切れた電線に近寄ると、感電するおそれがあります。

④ ブロック塀

平成30年の大阪府北部地震で、小学生のお子さんがブロック塀の倒壊によって下敷きになり、亡くなられています。

⑤ 瓦

外壁と同様、瓦も剥落して落ちてくるおそれがあります。

※ その他通学路で起こり得る危険について、ハザードマップを見ながらお子さんと考えてみることも大切です。

② あぶないところをとおっているときに、じしんがおきたらどうしたらいいでしょうか？
えを見て、かんがえてみましょう。



じぶんなら、どうする？

③ ゆれがいったんおちついたら、そのばしょにいるときけんなばあいは、あんぜんなばしょにひなんしましょう。
ひなんするときは、【お・は・し・も】をまもりましょう！



◎ 「お・は・し・も」

避難の際に重要となる事柄について、お子さんにわかりやすく伝えるのが「お・は・し・も」です。

特に集団で避難する際に重要となりますので、「なぜしてはいけないのか」をお子さんに理解することが大切です。

■ 「おさない（押さない）」、「はしらない（走らない）」

避難時に前の人を押したり、走ったりすると、転倒してケガをする等のおそれがあります。

■ 「しゃべらない（喋らない）」

先生等の避難指示が聞こえなくなるおそれがあります。

■ 「もどらない（戻らない）」

忘れ物等で、避難してきた場所に戻ることで、災害に巻き込まれてしまうおそれがあります。

◎ 各箇所での注意事項

お子さんに『お・い・た』を意識させながら、こういった行動を取るのが適切かを考えさせることが大切です。

① しんごうこうさてん

信号が停止し、交通事故のおそれがあるので、交差点には近づかないようにする。

② 川やはしのちかく

古い橋は崩落するおそれがあるので、橋から避難する。

③ ブロックべいのちかく

ブロック塀は倒壊するおそれがあるので、塀から離れる。

④ じどうはんばいきのちかく

自動販売機は転倒するおそれがあるため、自動販売機から離れる。

※ 地震の際に危険になる場所は、この手帳に掲載している場所に限りませんので、ハザードマップを見ながら、通学路や遊び場のどこが危険になるかをお子さんと一緒に考えておくことが大切です。

◎ 学校から帰るときに地震が起きたときの行動例

学校からの帰り道で地震が起きたときにどのような行動を取るかを確認します。

手帳に記載している行動は一例であり、各家庭によって、取るべき行動も変わってきます。

重要なのは『お・い・た』を意識し、周りの大人に助けを求めることです。

また、お子さん自身が、助けを求めた大人に通っている小学校や名前をちゃんと伝えられることも大切です。

④ じしんは『いつ』・『どこで』おこるかわかりません。日ごろから、じしんがおきたときどうすればいいのかがかえってみましょう。

<p>しんごうこうさてん</p> <p>どこがあぶない?</p> <p>①</p>	<p>川やはしのちかく</p> <p>なにがあぶない?</p> <p>②</p>
<p>ブロックべいのちかく</p> <p>どうする?</p> <p>③</p>	<p>じどうはんばいきのちかく</p> <p>どうする?</p> <p>④</p>

あぶないところからはなれたら、ゆれがおさまるのをまって、ゆっくりひなんしよう。ゆれているあいだにうごくのはあぶないよ。

5

⑤ 学校から一人でかえるときに、じしんがおきたら、あわてずにこうどうしましょう。

①～じぶんをまもる～

- ◆ランドセルであたまをまもる
- ◆「お・い・た」に気をつけて、あんぜんなところに行く

学校

子ども110ばんのおうちにける

110番

じどうかんにける

友だちのおうちにける

児童館

②～大人のひとにたすけをもとめる～

- ◆大人の人はじしんがきたら、どうすればいいか、おしえてくれます。すぐにたすけをもとめましょう。

③～大人のひとにたすけてもらうために～

- ◆名まえをいう『わたしの名まえは〇〇です。』『〇〇小学校の〇年生です。』
- ◆どうしてほしいかいう『たすけてください!』

大人のひとにたすけてもらいぶじにまちあわせばしょにつきました。

どうしたらいいかわからないときは…『まわりにたすけをもとめる。』『きけんなところにはいかない。』

6

◎ 家にいるときの注意事項

お子さんに『お・い・た』を意識させながら、どういった行動を取るのが適切かを考えさせることが大切です。

- ① ごはんを作っているとき
 - ・ 食卓の下に隠れる。
 - ・ 揺れがおさまってから火を消す。
- ② べんきょうしているとき
 - ・ 本や手で頭を守る。
 - ・ 机の下に隠れる。
- ③ おふろにはいつているとき
 - ・ 風呂の扉を開ける。
 - ・ 割れた鏡の破片等を踏んで、ケガをしないように気を付ける。
 - ・ 濡れた床で滑らないよう気を付ける。
- ④ ねているとき
 - ・ ふとんに潜って頭を守る。

⑥ おうちの中にいるときに、じしんがおきたらどうしたらいいでしょうか？**じぶんをまもるにはどうしたらいいの**かかんがえてみましょう。

ごはんを作っているとき	べんきょうしているとき
	
どうする？	どうする？
①	②
おふろに入っているとき	ねているとき
	
どうする？	どうする？
③	④

- ・ **じぶんのからだをまもることがいちばんたいせつ！** 
- そばにあるもので**じぶんのあたまをまもろう。**
- ・ **ゆれがおさまったら、おうちのドアやまどをあけて出口をつくろう！**
- ・ **ゆれがおさまったら、火をけそう！**
- ・ **ケガをしないように、あわてず、くつやスリッパをはいて外にでよう。**

7

※ 大人も子どもも、まず自分の身体（命）を守ることが大切です。本や鞆、クッション等、そのとき近くにあるものを使って頭を守りましょう。

※ 阪神淡路大震災で亡くなられた方の死因の9割は「家具の転倒による圧死」です。また、倒れた家具が避難経路を塞いでしまうこともあります。

こども部屋や寝室に、背の高い家具を置かないようにしたり、家具の転倒防止措置を施すことが大切です。

※ 揺れている間に火を消そうとすると、熱いもの（湯や油）がこぼれて身体にかかったりする等ケガをするおそれがあります。

今は、ガスコンロやガストーブ等は、揺れを感知し自動で停止するものが普及しています。揺れがおさまってから、慌てず火の始末を行ってください。

※ 地震により家の中で被災したとき、慌てて裸足等で外に避難しようとする、ケガをするおそれがあります。

靴やスリッパをわかりやすいところに用意しておくことも大切です。

◎ 通学路での注意

- 歩き慣れている通学路であっても、雨が降ると様子が変わる場合があるため注意が必要です。
- 冠水した道では、側溝に足を取られたり、開いたマンホールに気が付かず、落下するおそれがあります。
- 前述のとおり、川は急激に増水する場合があります、普段の川のように見えても、近づくことは危険です。

◎ あみだくじ解説

風水害時の避難の際は、履きなれた歩きやすい靴（スニーカー等）を履きましょう。長靴は中に水が入り、転倒するおそれがあります。

また、スリッパ等の脱げやすい履物も、避難の妨げになります。

- あるきなれたみちでも、雨がふっているとあぶないことがあるよ。
- みぞのぼしょやマンホールに気をつけてあるこう。
- 水がふえた川はあぶないよ。ちかづかないで！

かぜがつよいとき、大雨のときは、むりにそとにでないようにしましょう。
ひなんするばあいは、きんじょの人にもこえをかけて、あるいてひなんしましょう。

大雨やたいふうのときにひなんするときに、はいてひなんするとよいはきものはどれが正しいでしょう？
正しいと思うはきものにしをつけてアミダくじをしてみましょう！

【ヒント！】
はきものの中に水が入るとあるきにくくなったり、ぬげやすいものはダメ！
ひなんするときは、あるきやすいはきものがあぜんだよ！

おうちのかたへ
通いながれいる通学路や遊び場への道であっても、雨が降ると様変わりし、危険になる場合があります。お子様と一緒に歩いてみて、雨が降るとどこが危険になるかを確認してみてください。

9

体験談（マンホールの危険性）平成 22 年梅雨前線による大雨災害（平成 22 年 7 月）

マンホールに片足バコーン～泥水で蓋が浮いているのに気づかず～

（山陽小野田市 30 代 女性 看護師）

庭先に犬がいたのでつい声をかけると、飼い主さんが「実はこの犬、川が氾濫した時に流されたんだけど、泳いで帰ってきたんですよ」って。「偉いね」なんて話をしていると、その奥さんが出てきて、「ちょうど良かった。看護婦さんなら診てもらえる」と言いながら足を診せたのです。

足の付け根まで一本丸ごと、すごい内出血でした。「どうしたんですか？」って言ったら、「マンホールの蓋が浮いていたのに、泥水で見えなくて、落ちちゃった」と言うのです。「バコーンッ」と片足落ちて、『マンホールだ！』と思って自力ではい上がった」とも。表面上傷は無いけれど、ものすごく赤く腫れていて、ちょっと熱があるような感じだったので、足を冷やしてあげてから、病院に行くよう勧めました。

お母さんって、被災して片づけをしながらも、ちゃんと家族に 3 食食べさせなきゃいけないっていうことがあるから、気にはなるんだけど自分のことはさて置いて、という感じになっちゃうんですね。

痛かったと思いますよ、本当は。けど、耐えとったんよね。別れ際に、「ちょっと安心した」と、奥さん。そのひと言が心に残りました。

（内閣府防災担当「一日前プロジェクト」より）

5 ほかのさいがいについて

ねらい

☆ 雷の危険性と対処法を知る。

解説

◎ チェックポイント(雷発生時の危険な事象)

- ① 人への落雷
- ② 樹木への落雷

◎ 雷の危険性

雷鳴が聞こえたときは、落雷に注意が必要です。

グラウンドや公園等の開けた場所にいると、落雷が直撃するおそれがあります。これを直撃雷といい、死亡率は約7～8割とされ、大変危険です。

また落雷のおそれがある中で、雨をしのぐために樹木の下や家の軒先等で雨宿りすることも危険であり、落雷を受けた樹木等から人に電流が飛び移る場合があります。これを側撃雷といい、直撃雷に次ぐ死因となっています。

◎ 雷への対処法

落雷のおそれがあるときは、すぐに建物の中に避難します。

また、近くに建物がない場合は『雷しゃがみ』の姿勢を取ります。

文中の①～④の中でも、特に③、④が重要なポイントであり、両足のかかとを合わせることで、足から侵入した電流を、片足から反対側の片足へ流し返し、上半身まで電流を流さないようにします。また、つま先で立って、地面との接点を最小限にすることで、電流が侵入するのを最小限にします。人が多いときは、各自できるだけ離れて雷しゃがみを行います。なお、姿勢を低くすると言っても、地面に腹ばいになるのは、地面と接する面積が大きくなるため、地面に雷が落ちたとき、その電流で感電するおそれがあります。

また、雷雨のときは傘をさすと、雷を自身に引き寄せてしまうおそれがあるため大変危険です。また、ゴム製品を身に着けても、雷の強い電気を防ぐことはできません。金属類（メガネ、時計、指輪等）を外しても、ほとんど効果はありません。

5 ほかのさいがいについて

かみなりがはっせいしたら、どんなきけんなことがおこるでしょうか？下のえを見て、かんがえてみましょう。



こんなところがあぶないよ！

- ①ゴロゴロ……かみなりの音がきこえるばしょ
- ②ビルのようなたかいばしょや木のようなたかいものそば
- ③うんどうじょうのようなひろいばしょ

・かみなりの音がゴロゴロきこえたら、早くちかくにあるたてももの中にひなんしよう！
 ・木の下やいえのきさきで、雨やどりするのはあぶないよ！

おうちのかたへ

近くに避難できる建物がない場合、『雷しゃがみ』が有効です。

お子様と練習してみてください。

- ①しゃがんで頭を低くする。（姿勢をなるべく低く保つ）
- ②両手でしっかり耳を塞ぐ。（鼓膜を守る）
- ③かかとを合わせる。（地面からの電流を上半身まで流さない）
- ④つま先で立つ。（地面との接点を最小限にする）

6 ひなんじょってどんなところ？

ねらい

- ☆ 避難所の役割を知る。
- ☆ 避難所と避難場所の違いを知る。

解説

◎ チェックポイント（避難所の特徴）

- ① 炊き出し
- ② 情報の掲示板
- ③ 避難者の受付
- ④ 避難者の診療
- ⑤ 配給品の受け渡し
- ⑥ 家から持ち出した非常持ち出し品の確認
- ⑦ 要配慮者の移動の介助
- ⑧ ケガの治療
- ⑨ 乳幼児の授乳

◎ 避難所

災害により、自宅に住めなくなった人が集まって一定期間生活するところが避難所（指定避難所）です。

避難所の開設は市が行いますが、受付や炊き出し、情報掲示板の貼り出し等、運営は避難した人たちが中心となって行っていくことになります。

尾張旭市では災害の種類に関わらず、市内12の小中学校の体育館が避難所となっています。

◎ 避難所（指定避難所）と避難場所（指定緊急避難場所）の違い

避難場所は、避難所と異なり、そこで生活することは想定されていません。災害から自分の命を守るため、短期間避難する場所を指します。

尾張旭市では、地震災害時と風水害時で避難場所を分けると共に、名称も変えています。（詳細は、令和3年4月発行の尾張旭市防災ガイドブックを確認）

▽ 地震災害時⇒一時避難場所

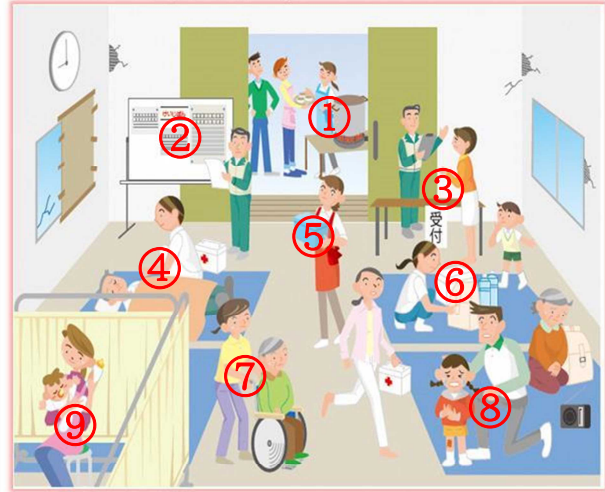
市内各都市公園、一部の集会所、ちびっこ広場等

▽ 風水害時⇒地域避難所

中央公民館を含めた8つの公民館（三郷公民館を除く）、東部市民センター

6 ひなんじょって、どんなところ？

- ① ひなんじょはどんなところでしょうか？下のえを見てかんがえてみましょう。



ひなんじょってこんなところ！

さいがいで、じぶんのおうちにすめなくなった人が、あつまってくらすところです。

おわりあさひでは、小学校と中学校のたいいくかんが、ひなんじょになります。

『ひなんじょ』と『ひなんばしょ』のちがいは？

- ・ひなんじょは、さいがいのときにせいかつするばしょだよ。
- ・ひなんばしょは、じぶんのあんぜんのために少しのあいだひなんするばしょだよ。

◎ チェックポイント(避難所のルール)

① 時間を守る

避難所では、食事の時間や消灯時間等の時間のルールが設定されます。

時間を守らないと、多くの人に迷惑がかかります。

② 勝手にどこかに行かない

避難所には、勝手に立ち入ってはいけない場所もあります。また、子どもが一人で大人の目の届かないところに行くと、犯罪に巻き込まれるおそれもあります。

③ 順番を守る

基本的なことですが、様々な人が生活する避難所では、お互いにルールを守り、尊重し合うことが重要です。

② ひなんじょはいろいろな人が生かするばしよです。そのためまもらなければならないルールはなんでしょうか？下のえを見てかんがえてみましょう。

①



『もうねるじかんなのに…』

②



『あの子、どこにいるの？』

③



『みんなならんでるのに…』

こまっている人たちがいるよ。どうしたらいいのかな？



ひなんじょのルールをまもろう！

- ・じかんをまもる。
- ・かってにどこかへいかない。
- ・じゅんばんをまもる。

ほかにもいろいろなルールがあるよ。みんなでももろうね。



12

体験談（避難所のルールの重要性）東日本大震災（平成23年3月）

トイレ掃除はこまめに。きれいな方が汚されない

（新地町 60代 女性 社協職員）

避難所ではトイレが問題になる！このことはほかの地域の災害報告等から繰り返し伝え聞いていました。汚れたトイレを使うのはだれにとってもとても不快ですし、衛生面からもよくありません。

だから避難先の中学校では、常にトイレを気にかけていました。プールの水をくんだ衣装ケースとバケツをトイレの近くに並べ、使用後はバケツで流す。そして空になったバケツには衣装ケースから水をくんでおく。紙は流さず、個室に1枚ずつ設置したビニール袋に捨てる。水が少なくなったら衣装ケースにくみ足す。こうしたことを、避難所の開設当初からルールとして決めました。

更に、時間を見つけてはこまめにトイレ掃除をし、清潔を保ちました。特に当番制等にしたわけではなかったのですが、とにかくできるだけきれいに保ったことで、少し汚れたときにさっと掃除してくれる人もいたのではないかと思います。汚れ始めを放っておいてしまったら限りなく汚れていくだけだったのは間違いないでしょう。

おかげで結構きれいに使ってもらうことができました。「トイレ使用はルールが大事。清潔にしておくと汚されにくい」ということを体験から学んで実感しています。

（内閣府防災担当「一日前プロジェクト」より）

7 まとめ

ねらい

☆ 本手帳で学んだことの復習をする。

解説

◎ おさらいの回答

①じしんがおきたときは

おちてくるもの

いどうしてくるもの

たおれてくるもの

に気をつける。

②大雨やたいふうのときは

川にはちかづかない。

③ひなんじよではルールをまもる。

◎ きけんなところをしらべよう


通学路の危険箇所について確認し、災害時にどのような対応をするか話し合いをしてみてください。

7 まとめ

さいがいがおきたときは、**きまりをまもり、あんぜんにこうどうすることがたいせつです!**
ちいきの人やおうちの人ときょうりよくしてたすけあい、さいがいをのりきりしましょう。

◎あんぜんにひなんするために

①「お・は・し・も」をまもろう!
ひなんのときは、
・おさない
・はしらない
・しゃべらない
・もどらない



◎あわてず、しずかにひなんしよう!

◎おさらい

①じしんがおきたときは
お
い
た
に気をつける。

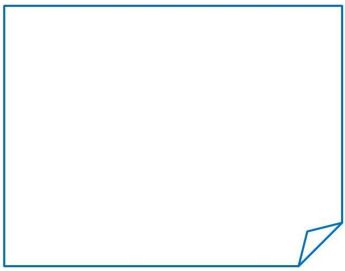
②大雨やたいふうのときは _____ には
ちかづかない。

③ひなんじよでは _____ をまもる。


13

◎きけんなところをしらべよう

学校から家までのちずをかいて、おうちの人と、きけんなばしよをしらべてみよう。



きけんなばしよをさがすポイント!
じしんのときは...
①ブロックがあるばしよは、どこかな?
②じどうはんばいきなど、たおれてきそうなものがあるばしよは、どこかな?
大雨やたいふうのときは...
①マンホールがあるばしよは、どこかな?
②みぞや川があるばしよは、どこかな?



14

参考資料

■ 尾張旭市防災ガイドブック

尾張旭市のハザードマップ及び防災啓発事項を掲載したガイドブックです。

URL : <https://www.city.owariasahi.lg.jp/kurasi/bousai/map.html>

■ 一日前プロジェクト（内閣府防災）

日本全国で起こった災害にまつわる体験談が掲載されています。

URL : <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/index.html>

■ こどもぼうさいランド（消防庁）

こども向けクイズ動画が掲載されています。

URL : <https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/you-syou.html>

☆スマートフォンはこちらからアクセス

尾張旭市防災ガイドブック	一日前プロジェクト	こどもぼうさいランド
		